

事務事業評価票

所管部長等名	建設部長 船藏 満彦
所管課・係名	街路公園課 街路係
課長名	下川 哲夫

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	街路事業：南部幹線道路整備事業 (社会資本整備総合交付金) (地方特定)		「主たる事業の執行状況調」における件名又は事業名	南部幹線道路整備事業
会計区分	一般会計			
予算の事業名	南部幹線道路整備事業(地特定)	南部幹線道路整備事業(総合交付金)		
事業コード(大-中-小)	12 - 01 - 38	12 - 01 - 45		
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第3章 安全で快適に暮らせるまち		
	施策の大綱(節)【政策】	③暮らしを支えるまちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	①便利で快適な交通基盤整備		
	具体的な施策と内容	(2)魅力ある交通環境の整備・改善		
根拠法令、要綱等	都市計画法			
実施手法 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 全部直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()		法令による実施義務 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 義務である <input type="radio"/> 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前	終了年度	平成28年度

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を) 都市の基盤的道路施設として、主要な骨格をなし、市民生活や経済活動等における自動車歩行者交通等を円滑にするとともに、市南部地区の外郭を形成する国道3号に連結する。	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 本路線の整備によって、急激に住宅化が進む、麦島・八の字地区の通勤・通学時の慢性的な交通混雑の解消と、市街地中心部との連携によって地域の振興に寄与する。
	内容 (手段、手法等)	【全体の事業計画】本路線は、市街地中心部と南九州西回り自動車道・八代IC及び国道3号を結末する都市の骨格となる重要な幹線道路である。本事業は、当路線の内、一級河川・南川を挟む区間を市施行で取り組んでいる。 <input type="radio"/> 延長 L=1,038m <input type="radio"/> 幅員 W=30m <input type="radio"/> 全体事業費 C=5,4000百万円 うち、平成25年度 406,000千円、平成26年度 420,000千円 【本年度の概要】事業費：224,300千円 ・南川橋梁下部工(P5橋脚)建設工事(H23~H24)・南部幹線改築工事(古城町側補強土壁等)・南川橋梁建設に伴う航路浚渫工事・P5橋脚建設に伴う建物等事後調査業務委託・用地取得 A=56m ²	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	都市計画道路八代臨港線が全線供用したことから、南北にアクセスする主要な幹線道路として計画され、中北町から霞牟田町までの区間を市施行、建馬町から中北町までの区間を県施行で行うことになっている。しかし、市施行区間の事業認可取得後、県の財政状況が厳しくなり、また、八代港の整備見直し並びに国内の自動車保有台数の減少の影響もあり、県施行区間の調査等は行われているものの、事業認可の取得までには至っていない。事業効果を早期に発現するためには、県事業区間の早期着手が望まれる。		

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込		
コスト	総事業費	千円	325,250	241,550	221,500	420,000	434,000	433,300		
	事業費(直接経費)	千円	313,000	230,000	210,300	406,000	420,000	420,000		
	財源内訳	国・県支出金	千円	161,700	112,750	112,200	220,000	220,000	220,000	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0	
		市債	千円	143,600	111,300	92,900	176,700	190,000	190,000	
		その他()	千円	0	0	300	0	0	0	
	一般財源	千円	7,700	5,950	4,900	9,300	10,000	10,000		
概算人件費(正規職員)	千円	12,250	11,550	11,200	14,000	14,000	13,300			
	正規職員	人	1.75	1.65	1.60	2.00	2.00	1.90		
	従事者数	人								
	臨時職員等従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画	
	①	整備延長(事業費ベース)：(累計の事業費/全体事業費)×全体延長	事業開始から、事業費ベースでどの程度整備を行ったか換算延長での指標として設定した。 事業認可延長 L=1,038m	m	649	693	733	811	892	973
	②	進捗率(事業費ベース)：(累計の事業費/全体事業費)×100	事業開始から、どの程度事業費ベースで進捗しているかを割合の指標として設定した。	%	62	67	71	78	81	94
(記述欄)※数値化できない場合										

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A A A A	(現状分析等) 本事業は、平成9年4月に都市計画決定された街路で、県道八代港 大手町線を起点とし、国道3号を終点とする、市の物流交通拠点であ る「八代宇城地方都市地域・八代中心市街地活性化拠点地区」と、 「南九州西回り自動車道・八代南IC」、「重要港湾八代港」を結束し、 都市の骨格を形成する重要な街路である。 そのうち市施工区間は、南川を挟む中北町から葭牟田町までの 1,038mに取組んでいる。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている		
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない		
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B A	(現状分析等) 平成9年度に事業認可を取得し、鋭意事業進捗に取り組んできた が、当初事業計画より大幅に遅れている。これも事業費が莫大であ ることから予算の確保が困難な状況である。今後は事業費の確保に 努め、早急な供用開始を図り、麦島地区と八の字地区の渋滞解消 し、地域振興につなげたい。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき		
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A A A A	(現状分析等) 道路構造令に準拠するとともに、最も経済的で安価な施工方法で 行っている。また、他事業(下水道)と連携を図り、同時施工しコスト 縮減に努めている。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である		
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である		
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき		

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 事業開始から15年を経過しており、用地購入も平成24年度で完了することから、平成28年末 の全線供用に向け予算確保に努め、周辺の渋滞解消及び地域振興につなげたい。																				
	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 今後の取組として、他事業や別途工事で発生した建設残土を有効利用し、構造上支障 がない部分へ流用し、より一層のコスト縮減に努めている。																					
改革改善内容	改革改善による期待成果																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td align="center">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					

外部評価の実施	有：他の評価制度による外部評価	実施年度	平成23年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------